

第4章 第2期総合戦略の4つの柱と基本目標

1 政策の4つの柱と基本目標

第2期総合戦略における政策の基本目標は、前章「2 人口問題の改善に向けてのまちづくりの課題」及び「3 人口問題の改善に向けて活かすべき本市の特性」を踏まえたうえで、国の総合戦略や岩手県ふるさと振興総合戦略を勘案し、また、盛岡広域圏市町で構成する連携中枢都市圏形成において取りまとめる連携中枢都市圏ビジョンとの連携により、以下の4つの柱とそれぞれの基本目標を掲げ、取り組んでいきます。

【4つの柱】

1. 八幡平市で働く

【基本目標1】 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造

2. 八幡平市で育てる

【基本目標2】 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む

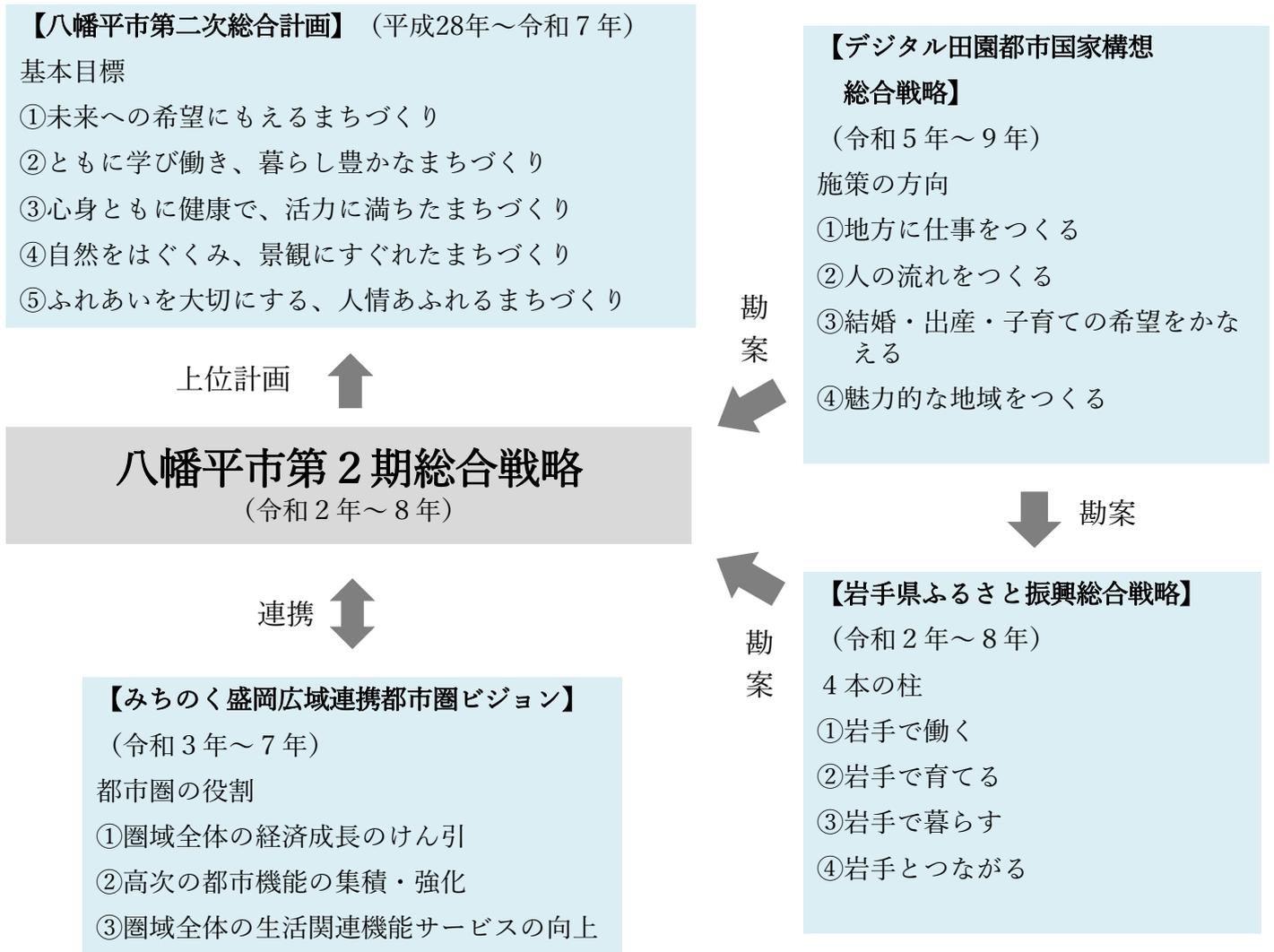
3. 八幡平市で暮らす

【基本目標3】 地域の元気を活かした持続可能なまちづくり

4. 八幡平市に人を呼び込む

【基本目標4】 八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

【国・県の総合戦略及び連携中枢都市圏ビジョン並びに市総合計画との関係】



2 4つの柱と基本目標における基本的方向と数値目標

1. 八幡平市で働く

【基本目標1】 八幡平市の特性を活かした、生きがいを感じる働く場の創造

基本的方向

(1) 八幡平市の豊かな自然の恵みを最大限に活かした、生きがい・創造の産業ブランドづくり

地域資源を活かし、若者に夢と希望を与える創造的な八幡平ブランド育成の環境づくりを推進します。

(2) 産学官金連携による産業の強化

大学や高等学校、金融機関等と企業の連携により人材の確保と育成を支援するとともに、多様な人材と企業のマッチングを支援し、産業の強化を図ります。

(3) 若者のニーズにマッチした新たな産業の創造

情報通信業をはじめとした新しい分野の雇用を創出し、若者の地元定着を促進するため、起業家の育成を図ります。

数値目標

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
農業産出額（推計）	(H29) 1,380千万円	1,400千万円	1,400千万円
起業件数（個人事業主含む）	(H30) 5件	(累計) 18件	(累計) 18件

※令和3年度修正

2. 八幡平市で育てる

【基本目標2】 八幡平市の地で縁を結び、次世代の成長と笑顔を育む

基本的方向

(1) 子どもたちや大都市等の若者・女性・子育て層が集い、住みたくなる定住促進の拠点づくり

ふるさと八幡平市への誇りと愛着を育み、女性や若者、子ども、子育て層が暮らしやすい定住環境の充実を図ります。

(2) 子どもを育てたい“まち”八幡平の確立

八幡平市の子育て環境の良さを知ってもらい、里帰り出産など一時的なりターンも含めた地元回帰と、子育て世代のコミュニティを醸成し、子育てのまち八幡平の充実を図ります。

数値目標

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
15～39歳女性人口	(H30) 2,264人	2,284人	2,284人
出生数	(H30) 121人	113人	113人
合計特殊出生率	(H29) 1.40	1.61	1.61

3. 八幡平市で暮らす

【基本目標3】地域の元気を活かした持続可能なまちづくり

基本的方向

(1) 拠点となる地域の活性化と連携強化による持続可能なまちづくり

持続性の高いまちづくりに向けて、地域の拠点や既存機能の集積等による活性化への取組みや、盛岡広域圏内での広域連携によるまちづくり課題への対応や資源循環の取組み等を進めます。

(2) 市民や地域が輝く、協働のまちづくりの推進

市民が、地域内活動（交流や地域貢献活動など）に積極的に参加又は協力をするような取組みを強化し各地域のコミュニティや絆、共助体制の強化を図ります。

(3) 八幡平市プロモーション¹⁵⁾の強化

市民・地域企業・団体等の多様な主体と連携し、八幡平市の魅力を内外に積極的にPRしていきます。

数値目標

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
地域コミュニティ活動の延べ参加人数	(H30) 11,559人	11,000人	11,000人
八幡平市ホームページのページビュー数	(H30) 109万PV	135万PV	135万PV

4. 八幡平市に人を呼び込む

【基本目標4】八幡平市の豊かな自然や絆を活かし、新たな人が流入する流れを創る

基本的方向

(1) 地域資源を活かした持続可能な観光地づくり

豊かな自然資源の恩恵を継続的に活用する持続可能な観光地づくりを進めます。

(2) 自然の恵みの中でひとが輝く、心豊かに暮らせる故郷づくり

豊かな自然の恵みに魅力を感じ心豊かに過ごしたい人を呼び込み、まちの活性化につながる取組みを推進します。

(3) ワークेशन¹⁶⁾や多拠点居住など、新たな暮らし方を受容したまちづくり

安比高原や八幡平温泉郷のリゾート地という特性を活かし、ワークेशनや多拠点居住者の受け入れを推進します。

数値目標

指標名	基準値	目標値(R6)	目標値(R8)
観光客入込数	(H30) 1,944千人回	2,103千人回	2,103千人回
観光宿泊者数	(H30) 533千人回	600千人回	600千人回
転入率（人口千人当たり）	(H30) 21.23人	24.00人	24.00人

15)プロモーション；ここではシティプロモーションのことを指す。シティプロモーションとは、市のイメージを高め、知名度を向上させる活動をいう。

16)ワークेशन；2000年代に米国で生まれた、「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語。概ねリゾートなどの環境のよい場所で、休暇を兼ねてリモートワークを行う労働形態を指すことが多い。